重点支援地区支援状況表

No.	市町村名	地区名	分類	選定	区分	日程	対応者 (PT)	対応者 (市町村)	参加者 (地区)	支援(協議)内容	決定事項・課題・今後の方向性	備考
1	浜田市	美又	A 緊急性	2/22	1	5/9	西部県民 三島、安食	金城支所 河内係長 井上主任 河野地域Mg	なし	・黒豆の加工品開発→豆腐等の加工に、産業技術センター(浜田)の助言を受けたい。 ・NPO法人の設立→任意団体から移行する際の財産承継に関する手続きの確認 ・美又温泉利用客へのアクアス入館料割引→旅行エージェントへの負担を伴うため、足並みが揃っていない。	・産業技術センター(浜田)へは西部農振Cを通じて支援を受けられるよう調整 ・市NPO担当課に確認 ・西部県民C(商工労政課)と調整し、対応について回答 ・今後は月1回の頻度で協議を行う。	
2	出雲市	窪田★ 須佐★	C お手本 D 自立	2/22	1	6/6	しま暮 笠松 中山間C 有田、吉田	自治振興課 安 田、三島 農業振興課 金 築 多義支所ほか	なし	・国補助事業により、コミュニティビジネス可能性調査業務の企画コンペを実施。6社の提案あり。 ・橋波地域へ地域おこし協力隊を今年度導入したい。 ・地域交通に関して、市交通対策課の方針が見えないため停滞中	・地域おこし協力隊は予算措置を伴うため、定住財団の島根おこし体 験事業の活用もアドバイス。 ・市交通対策課に状況の確認を行う(市自治振興課) ・次回は7月11日に行う。	
3	江津市	黒松★	C お手本	2/22	1	5/2	坂、樋野、上田 西部県民 岸野、三	政策企画課 川島参事、中川 補佐、無川係 長、森脇主任	なし	・地域の課題、活動の目標が住民間で共有されていない。 ・地域計画の見直し作業が必要 ・海産物の特産品(ワカメ・イカ・ノリ)開発に関して、住民の関心は 高いが、販売戦略や展開に関する関心が低い。	・地域計画の見直しには、島根大学の諸岡教授が関わっており、その 進捗に合わせた支援を行う。 ・ワークショップを通じた活動の体系化等について支援を行う。	
4	雲南市	吉田★	A 緊急性	2/22	2	5/15			地域おこし協力隊 浜崎	(雲南市地域おこし協力隊連絡会) ・民谷地区の地域自主組織設立に向けた準備委員会を設置。先進地視察 を計画 ・宇山営農組合により、田植体験イベントを実施(5月19日)	・地域自主組織の設立に向けた準備委員会は、立ち上げ、行動計画の 策定など順調にスタート ・月1回開催される地域おこし協力隊連絡会を通じて、状況の把握等 を行う。	
						6/19	しま暮 田中、樋野 中山間C 藤田	地域振興課 板持主幹 吉田総合セン ター 杉原	地域おこし協力隊 浜崎	(雲南市地域おこし協力隊連絡会) ・吉田地区の計画策定(H26~30)に向けた作成委員会が立ち上がる。 ・民谷分校施設の活用について、交流のある早大建築学科の教授等が現 地を近日中に訪問予定	・次回は7月5日に行う予定	
5	雲南市	塩田★	A 緊急性	2/22	2	5/15		地域振興課 板持主幹	地域おこし協力 隊 三瓶	(雲南市地域おこし協力隊連絡会) ・地区計画の見直しに向け、テーマごとに事業部を設け、主体的に検討する体制を構築中 ・Uターンしやすい環境づくりを柱として、前向きな話し合いが進みだしたが、市への要望傾向がまだ強いか。	・事業部ごとに月1回の定例会を開催 ・5月26日に開催する小規模多機能自治フォーラムの開催に併せて、川 北講師によるワークショップを予定 ・月1回開催される地域おこし協力隊連絡会を通じて、状況の把握等 を行う。	
						5/18	しま暮 田中 中山間C 藤田	石田 大東総合センター 中島、福間	地域おこし協力 隊 三瓶 塩田振興協議会 藤原会長ほか6 名	・塩田地区の人口推移、山口県周東市町三瀬川地区取組紹介 ・住民アンケート(3月)結果説明、意見交換←役員向け	・全住民へのアンケート結果の報告要望あり、方法等について検討	
						6/11	しま暮 田中 中山間C 有田、藤田	板持、石田 大東総合センター 福間	地域おこし協力 隊 三瓶 塩田振興協議会 藤原会長ほか6 名	・地区アンケート概要版の説明 ・地区計画策定のためのメンバー構成について	・地区計画策定会議のメンバーを決定	
						6/19	しま暮 田中、樋野 中山間C 藤田	地域振興課 板持主幹 大東総合セン ター 福間	地域おこし協力 隊 三瓶	(雲南市地域おこし協力隊連絡会) ・今年度から地区の体制が変わり、住民の負担感が増えている様子 ・一方で交流センター依存からの脱却を図る必要がある	・次回は7月5日に行う予定	
6	飯南町	谷★	B 潜在力	2/22	1	6/13	中山間C藤田、伊藤		清流クラブ 永 井会長ほか2名	・やまめ養魚場の再生と併せ、マイクロ水力発電の設置を検討 ・中山間センター(資源環境科)の紹介で、先進地視察(奥出雲町)を 実施 ・発電の用途は定まっていないが、展示用か。	・6月21日に今後の進め方について地元と協議	

No.	市町村名	地区名	分類	選定	区分	日程	対応者 (PT)	対応者 (市町村)	参加者 (地区)	支援(協議)内容	決定事項・課題・今後の方向性	備考
6	飯南町	谷★	B 潜在力	2/22	1	6/19	しょ春 徳野 中山間C 藤田、伊藤 京	住民課 杤谷課 長、深石 企画財政課 鳥 屋ヶ原主幹	なし	・自治会輸送活動について、町事業の区切りを25年度末に迎える。 ・26年度以降の交通対策について、現状と課題をヒアリング	・町としては自治会への事業委託を継続していきたい意向 ・一方で、輸送活動単体での収支は赤字であり、他の方法の検討も視 野に入れる。	
						6/21	しま暮 樋野 中山間C 藤田、伊藤	なし	清流クラブ 永 井会長ほか10名	・奥出雲水力発電視察の報告 ・やまめ養魚場再生に関して、GW中にやまめ養魚場の試験営業を行った ところ70人強の来客があった。	・中山間センターから打診を受けていたマイクロ水力発電装置の試験 設置について、了承 ・8月上旬にもやまめ養魚場の試験営業を行う。	
7	美郷町	別府★	C お手本	2/22	1	5/28	農業経営課 今井 西部県民 河野 中山間C 藤田	総務課 中原係 長	連合自治会 尾原会長 NP0別府安心 ネット 樋ヶ理 事長ほか 小松地営農倶楽 部 樋ヶ	・各組織の設立経緯、行事予定、事業計画等の確認	・会議への出席や情報提供の要望があれば行っていく。	
						6/14	農業経営 今井 ブランド 高田 しま暮 樋野 西部県民 河野 中山間C 藤田、岸本	なし	なし	・現場支援のコンセプト(次世代定住)についてチームで目合せ ・住民の巻き込み方、役場の支援体制について	・別府については、現在住んでいる地域おこし協力隊の定着をいかに 図るかという観点で支援を行っていってはどうか。 ・役場に対して、改めて県の支援の考え方を伝える。	
8	津和野町	畑迫★	A 緊急性	2/22	1	5/1	しま暮 青木悟、藤 坂、樋野、上田 西部県民 三島、安食 中山間C 藤山、檜谷	つわの暮らし推 進課 内藤課 長、村上主任主 事	なし	・防災意識の高まり、買い物支援のニーズが高い。 ・あじさいロードや山口線のSLといった資源はあるものの、事業の具体 化には至っていない。	・町内各地区の昨年度の取組みを共有する場「未来づくり協働会議」 を7月上旬に開催予定。その場への参加をお願いしたい。	
9	津和野町	青原★	C お手本	2/22	1	5/1	しま暮 青木悟、藤 坂、樋野、上田 西部県民 三島、安食 中山間C 藤山、檜谷	進課 内藤課 長、村上主任主	なし	・防災意識の高まり、買い物支援のニーズが高い。 ・一部では除草ができない集落も出てきている。同じ地区の中でも人口 集積地とそうでないところでの課題整理が必要で、その手伝いをお願い したい。	・町内各地区の昨年度の取組みを共有する場「未来づくり協働会議」 を7月上旬に開催予定。その場への参加をお願いしたい。	
	津和野町	全体				5/20	西部県民三島、安食	副町長 つわの暮らし推 進課 内藤課 長、赤松補佐、 清水係長	まちづくり委員 会32名	(町全体のまちづくり委員会役員会) ・役場からの説明、報告 ・25年度補助事業の考え方、スケジュールについて ・県PTの支援について質問あり→専門的見地からの助言、効果的な支援 制度の活用など	・各まちづくり委員会の25年度計画をもとに、7月中下旬に協議を行う	
10	益田市	真砂★	A 緊急性	3/28	1	5/2	双、	地域振興課 山本課長、岡崎 係長	なし	・国や県、市の事業など複数の取組みが同時に進行しているが、一部の団体や個人の取組みではなく、地区全体の取組みとして共感共有できるものにしていく必要がある。 ・真砂人"をベースに実施体制の再構築を図りたい。	・5月中旬に地区との協議の場を設ける。	
						5/27	四部保氏 二局	地域振興課 山本課長、椋木 補佐、岡崎係長	なし	(事業推進合同会議) ・地域自治組織の設立を支援していく ・地区の方の負担感が出ないように、役割分担を明確にした組織づくり を行う。	・地区への説明のポイントを「定住に向けての地域の在り方」とし、 小さな成功体験の積み重ねを心掛ける。	
						5/31	四部保氏 二局	地域振興課 椋木補佐、岡崎 係長	真砂人役員	(地区説明会・意見交換会) ・地域自治組織の必要性と事例紹介 ・人口の将来予測	・真砂人の役員で事業を進める方向で話し合う ・次回6月24日に事業推進合同会議を行う。	
11	大田市	北三瓶	A 緊急性	(6/25)	2	5/15	しま暮 青木悟、青木 陽 西部県民 岸野、河野 中山間C 藤田、岸本	まちづくり推進課 森山主幹	北三瓶よろず会 大谷会長	・北三瓶よろず会は、北三瓶全体の話し合いの場を設けることを目的に 24年5月に設立 ・自主防災組織を今月立ち上げる。防災と農業の担い手確保が大きな課 題	・地区の目標づくり、計画づくりの支援を行うため、重点支援地区に 選定する(4月10日の会議で地区は合意)。	

No.	市町村名	地区名	分類	選定	区分	日程	対応者 (PT)	対応者 (市町村)	参加者 (地区)	支援(協議)内容	決定事項・課題・今後の方向性	備考
						6/14	しま暮 青木陽 西部県民 畑山、岸野 中山間C 藤田、岸本	まちづくり推進 課 福富課長、 森山主幹、森 山、松本	北三瓶よろず会 大谷会長 ほか13名	・HPでの物販に向け、HP部会を発足 ・HPと物販を分けて考え、まず地域情報の発信から実施。今年度は地域 資源の洗い出しから取り組む	・HP部会、自主防災組織部会 委員が選定 ・自主防災組織部会では地域防災計画策定に取り組む (6/25 19:30~ まちづくりセンター) ・HP部会では地域情報の発信に向け地域資源の洗い出しに取り組む	
12	安来市	山佐	C お手本	(6/25)	2	4/24	しま暮 青木悟、荒 木、藤坂、樋野 中山間C 小村、安 部、赤池	定住企画課 佐 伯主幹、原主任 地域振興課 大 久保主幹、足立 主任ほか		・3年間のコミュニティ再生会議を通じ、組織の立ち上げや文化祭、名 所巡りといった取組みが始まった。 ・抽出した課題ごとに「生活」「産業」「文化・交流」ごとに分科会を 立ち上げ、運営をしていく。 ・個別の課題解決に向けた目標、対策を模索する必要あり。	・地区の目標づくり、計画づくりの支援を行うため、重点支援地区の 選定に向けた会議を行う。	
						5/17	しま暮 荒木 中山間C 安部、赤池	定住企画課 佐 伯主幹、原主任 地域振興課 大 久保主幹、足立 主任ほか	約30名	・重点支援地区への選定を承認 ・分科会ごとのリーダー、副リーダーを選出	・重点支援地区への選定を承認 ・分科会ごとのリーダー、副リーダーを選出 ・次回は7月4日に行う。	
						6/13 6/14	しま暮 荒木 中山間C 赤池	定住企画課 佐伯主幹、広瀬交流センター 金田主事ほか	分科会ごとに10 名ずつ程度	・今後の課題解決に向けた事業計画、活動内容を分科会ごとに議論 <生活部会、産業部会、文化・交流部会>	<生活>生協と買い物支援を実施。高齢者、子育て世代の二一ズ調査を実施 を実施 〈産業〉文化祭においてゆるきゃらコンテスト、野菜販売を実施 〈文化・交流〉上山佐カレンダーを作成、既存の行事(運動会、文化 祭など)を充実	
13	飯南町	志々	A 緊急性	(6/25)	2	5/15	しま暮 樋野 中山間C 伊藤	企画財政課 塚 原課長、鳥屋ヶ 原主幹、林主任	地区の自治会役員の皆さん	東部に百込ん処具即に封して 東米中族のフ紹文力	・会合の名称「わっしょい!志々会」に決定 ・9月をめどに粗々の地区計画づくりに向けて取り組む。 ・地区の目標づくり、計画づくりの支援を行うため、重点支援地区に 選定する。 ・次回は7月3日に行う。	
14	川本町	北(三原)	A 緊急性	(6/25)	2	5/7	しま暮 青木陽、青木 悟、藤坂、樋野 西部県民 河野 中山間C 有田、吉田	野坂副町長 政策推進課 左 田野課長、名原 補佐、伊藤主 幹、横田	なし	・三原は小学校が閉校となっており、跡地利用が課題 ・地区における一体感を今後醸成していく必要あり ・住民の間にも、「県の支援を受けて地域づくりに取り組む」という機 運は出てきている。	・役場としては三原が重点支援地区として適当と考えている。 ・地区内の正式な合意形成が必要 (その後、6月中旬に地区から正式な支援要請あり)	